

小施策評価シート (平成 27 年度実績評価)

施策コード	23	施策名	工業の振興	
小施策コード	23-3	小施策名	企業集積と生産基盤の拡充促進	
小施策 主管課等コード	136000	小施策 主管課等名	ものづくり推進課	
評価責任者名	北田 雅浩		内線番号	3770
評価シート作成者名	吉田 金一		内線番号	3771

Step 1 小施策の全体像

小施策の概要等 (構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり)

現状と課題	地域の特性を生かした工業振興を実現するため、産学官連携研究センターなどの市の新技術・新製品開発拠点を活用する企業のほか、組込みソフト・IT関連産業、食料品製造業などの企業が市内へ立地することが求められていることから、これら企業の立地を進めるため、安価で交通アクセスに恵まれた新たな工業用地の整備が求められている。
取組の方向性	企業が操業しやすい環境を整備するとともに、市街化区域内の低・未利用地の利活用などにより新たな工業用地を確保し、企業誘致を推進する。
対象 (誰(何)を対象として行うのか)	製造業等
意図 (対象をどのようにしたいのか)	工業団地への集積が進み、企業間連携や企業の設備等が拡充し、生産の効率化が図られる。

Step 2 成果指標の推移

(↑: 数値を上げていくことを目標とする指標, ↓: 数値を下げていくことを目標とする指標, →: 数値を維持することを目標とする指標)

指標項目	単位	25年度 実績 (現状値)	27年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
A 工場等新設拡充促進事業補助金の累積利用件数 (↑)	件	13	40	55	110
B ()					
C ()					

Step 3 市民ニーズの把握

市として企業誘致、地場企業の事業継続・事業拡大進み、雇用の創出につながり、地域経済が活性化するよう取組む必要性が生じている。

Step 4 役割分担分析

1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	新たな企業の誘致や企業の集積が図られるとともに企業の設備投資が進み、生産性の効率化により事業継続・拡大が図られるよう取り組む必要がある。	50
	国・県・ 他自治体		
	市民・ NPO		
	企業・ その他	行政をはじめ各種機関と連携し、事業革新や新事業に取り組むなど、雇用の創出や産業の振興を図る必要がある。	50

2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

市が積極的に企業等の工場や設備等の新設拡充を促進することで、企業の生産性の向上や市内への入居・立地希望企業数の増加に繋がり、最終的な製造出荷額の増加・製造業の振興になるため。

Step 5 成果・問題点の把握と改革改善案

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 小施策の中で成果をあげた点

工場等新設拡充奨励補助事業の申請件数に増加が見られた。

(2) 成果をあげた要因

広報、市ホームページや企業訪問等による周知が浸透しつつあり、計画的な設備投資をする傾向が生まれてきたため。

(3) さらなる成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

更なる企業の掘り起こしを行う。

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 小施策における現状の問題点

盛岡テクノパークの残地2区画に対する問合せはあるが、企業誘致が進んでいない。

(2) 現状の問題点が生じている原因

市ホームページや相談窓口等での紹介を継続しているが、企業の条件には面積、価格、周辺環境等様々でありマッチングに至っていないため。

(3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

継続的な情報発信、関係機関との情報交換等により入居希望企業の掘り起こしに努める必要がある。

3 改革改善案（上記1(3)及び2(3)で設定した課題に対する具体の取組）

- ・ 工場等新設拡充奨励補助事業については、企業訪問等により施策に係る情報発信を行い、市内企業の設備投資の更なる促進に努める。
- ・ 盛岡テクノパークの残地については、工場等新設拡充奨励補助事業の活用を含めた金融機関や相談窓口等での継続的なPRに努めるとともに、入居企業の用地拡充の方向性も併せて検討していく。

Step 6 小施策と構成事業の関係性

- 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業**
該当事業なし。
- 2 1で記載した事業についてその理由**
- 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）**